

## 心理学部主要科目の特徴、目標等

### <心理学部・現代応用心理学科>

流動性の激しい現代社会においては、人の‘こころ’も複雑に影響を受ける。心理学部・現代応用心理学科では、まず、自分を含め人間に強い関心を持ち、社会と人間の相互作用、人間の‘こころ’と行動のメカニズムを考察し、人との接し方や、他者の援助について優れた専門的知識を持つ人材を「基礎心理学」「臨床心理学」「健康・スポーツ心理学」「ビジネス心理学」「犯罪心理学」の5つの領域を設定して育成する。卒業要件単位は124単位であり、内訳として「総合教養科目」30単位、「専門科目」94単位である。1年次から4年次まで、ゼミ演習（基礎セミナー、専門セミナー）を行い正真正銘の少人数教育をカリキュラムの中心に置いている。

### 〔主要科目（専門科目の特徴と目標）〕

科目名	内容の特徴	目 標
心理学概論 1, 2	心理学の基礎分野として、知覚・認知・学習・言語・思考・人格・動機づけ・感情・発達・社会行動などを中心とした概説を行う	人間の行動の法則性を科学的に理解すること。
心理学基礎実験実習 1, 2	人の行動・心を科学的に研究するための基礎的な手法を学ぶことを目的とする。知覚・学習・人格・発達・社会行動など の人の基本的な行動を仮説をたて、実証する方法を学ぶ	心理学的な実験技法を習得し、結果を読み取ることが出来る。
心理学統計 1, 2	人の行動・心を科学的に理解するには客観的視点が必要である。そのための手法の一つとして統計的な推計・検定・多変量解析を用いるための理論と手法を学ぶ	心理学的データを分析する基本的手法を習得する。
心理学研究調査法	人の心を測定する方法として質問紙による調査法はもっとも頻繁に行うものの一つである。そこで、ワーディングなどの質問項目の作り方、協力者の選定、分析法などについて学ぶ	心理学の方法論としての調査手法を習得する。
心理学研究実験法	人の行動の因果関係を実験的手法を用いることで明らかにする方法を学ぶ。人を対象にする実験には仮説の設定や結果の分析の重要性とともに倫理的な配慮を欠かすことができないことを学ぶ	心理学の方法論としての実験手法を習得する。
心理学研究観察法・面接法	人の行動には意識していない面が含まれているが、それは行動を観察することによって明らかにすることができる。また、個人的で具体的な情報については面接における語りの中から理解することが重要である。そのための方法として観察法と面接法を総合的に学ぶ。	心理学の方法論としての観察手法と面接手法を習得する。
臨床心理学概論	精神疾患や心理的問題の原因・治療・介入・解決あるいは人々の精神的健康の増進についての基礎的知識を学ぶ	臨床心理学の対応している領域について理解する。
社会心理学概論	社会心理学の基本的な知識を踏まえながら職場、学校、家族、地域での実際の生活場面での人間関係やリーダーシップ、コミュニケーションなどについて応用の分野がどのように展開されているのかについて学ぶ	社会心理学の応用領域について理解する。

健康・スポーツ心理学概論	健康心理学で言う健康は、精神的なものはもとより、身体的、社会的側面を含むものである。そこでストレスやライフスタイル、生活習慣病や心と体のバランス、スポーツと健康の関係や心理的コントロール法など、健康を取り巻く諸問題についての基礎的な知識を学ぶ。	心身の健康に必要な心と身体の関係や心理的健康のための知識や方法を理解する。
精神医学概論	精神疾患や心理的問題は心の問題としてだけでなく、医学的な対応が必要とされる場合が多いので、どのような対応が行われるのかについて基礎的な知識を学ぶ	心の病気や精神的な病について理解する。
人間関係論	1対1、複数の人間関係など人と人との相互作用の課程の中で生起するさまざまな問題について概説する	人間関係に起きている心の動きを理解する。
公認心理師の職責	公認心理師の設立までの歴史的経緯から、こころの専門家ゆえに求められる自己研鑽の必要性等について学ぶ。	公認心理師として理解しておくべき事、活動領域とそれぞれの現場で求められる役割や業務について理解する。
社会病理学	犯罪、非行、自殺、浮浪、売春、汚職、家出、酒精依存、麻薬中毒、家庭内暴力の背景には、社会にある程度、大量に、かつ共通的、特徴的にみられるところに問題がある。すなわち、広く集合的な社会現象としてみた場合、個体原因ばかりでなく、社会にその発生の根が求められることを学ぶ	心の病理と社会のあり方の関係について理解する。
コーチング心理学	対象に合わせたスポーツ指導の基礎知識を学ぶ。スポーツコーチングの基礎知識を学ぶ。コーチングやリーダーシップに関する理論、スキルを学び、実践例について調べる。	スポーツ心理学の立場からコーチングについて理解する。
認知心理学	事物や事象について知ること、あるいはその過程としての知覚、注意、イメージ形成、判断、記憶、推論、問題の発見と解決、言語の理解と発話、学習など「知」 cognitionに関連する諸過程についての基礎的な知識を学ぶ	脳の働きと心との関係を理解する。
心理・表現療法2	ペットの存在の人の心に与える影響について基礎的な知識を学び、さらに、特にドッグセラピーについてセラピー犬との接触の機会、実践の現場での関わり等を実践しながら動物が人の心理的な問題を解決してくれる可能性について学ぶ	心を癒すために様々な手法があることを学ぶ。
集団心理学	人は一人ではできないことを可能にするために集団を作るが、集団の力は集まった人々、リーダー、課題によって様々にダイナミックに変容することを学ぶ	人の行動はその人と環境の相互作用によって形成されることを学ぶ。
プロファイリング	犯罪者を、犯罪の性質や特徴から行動科学的に分析し、犯人の特徴を推論するためのプロファイリングについて基礎的な知識を学ぶ	人の行動に影響を与えている要素を理解する。

地域課題型卒業研究	一人ひとりの4年間の学びの集大成として、現実の地域社会の問題に関連する課題を見つけ、研究報告書を作成する	課題の発見、仮説、検証、考察の流れを理解し、地域社会に貢献する方法について学ぶ
自由課題型卒業研究	一人ひとりの4年間の学びの集大成として、課題を自由に設定し、研究報告書を作成する	課題の発見、仮説、検証、考察の流れを理解し、問題解決思考の方法について学ぶ

### <履修モデル>

在校生の1週間（モデルケース・2回生の場合・後期）

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1時限目	総合英語Ⅱ	日本語表現			
2時限目	臨床心理学概論	心理学研究実験法	心理学研究面接法	学習心理学	家族心理学
3時限目		生命科学	キャリアデザインⅠ	心理学研究調査法	日本国憲法
4時限目	プロファイリング		アニマルセラピー	心理学基礎ゼミ4	認知心理学
5時限目					